

# 水辺の緑いっぱい作戦

平成29年9月12日、三笠市立岡山小学校3年生の8名と一緒に「水辺の緑いっぱい作戦」を行いました。桂沢ダムの嵩上げでダム湖の水位が上昇することによって、植物が水没して枯れてしまい、岸辺が裸地化して崩れやすくなります。そのようなことを防ぐことを目的に、水の中でも枯れにくい植物でいっぱいにする活動が「水辺の緑いっぱい作戦」です。幾春別川ダム建設事業所では平成13年から毎年、三笠市内の小学生と一緒に植樹を続けています。

この日は、NPO法人近自然森づくり協会理事長の岡村先生にも参加していただき、植物が水没すると呼吸ができなくなり太陽の光も届きにくくなるので枯れてしまうことや、「エゾミソハギ」という植物は水の中でも生きることができるため、岸辺を緑でいっぱいにするができることを教えてもらいました。

あいにくの雨により植樹はできませんでしたが、幾春別川ダム建設事業所で「エゾミソハギ」の苗床づくりや、タネ播き、ポットへの移植を行いました。皆さんで作った苗は、今後の植樹に使われます。



真剣に取り組んでいました



ポット移植は難しかったかな？



元気に育ちますように



新桂沢ダムの工事も見ってきました